



農作物収穫体験



ふれあい活動

支店を拠点に食育活動や農作物収穫体験・ボランティア活動などのふれあい活動を実施し、地域とのつながりの強化に努めました。

- ①食農教育：農作物収穫体験、親子料理教室
- ②ボランティア活動：清掃活動、交通安全活動
- ③地域交流：グラウンドゴルフ、地域まつりへの参加
- ④ふれあい活動：イベントの開催、ちゃぐりんフェスタ、しめ縄づくり体験等

ニーズを反映した活動

店舗運営委員会を開催し、組合員・利用者の意思を反映したふれあい活動の企画と運営への参加により、地域に求められる活動の実践に取り組みました。



女性部と意見交換会

ふれあい活動



食育活動



総合事業を通じた生活インフラ機能の発揮

多様な事業を総合的に展開することで地域農業の振興や地域づくりに努めています。

- ①地域金融機関 ②やすらぎ会館（葬祭）
- ③デイサービス（福祉） ④共同購入運動

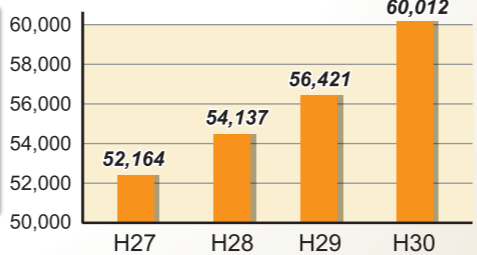


終活セミナーの様子

組合員と地域とJAのつながり強化（メンバーシップ）

組合員加入による農の応援強化に取り組めます。
※詳しくは最寄りの店舗へお問い合わせください。

JA筑紫総合ポイントカード推移
(あぐりカード・総合ポイントカード)



Point!

これからのJA筑紫の自己改革実践状況

JA筑紫では、中期3カ年計画の着実な実現を念頭に、過去から自己改革に持続的に取り組んできました。JA筑紫が合併以来、組合員や地域住民のために事業を継続してきたこと、それぞれ「自己改革」そのものです。これからも、JA筑紫は地域に必要とされるJAであり続けるため、自己改革に取り組んでまいります。

詳しい情報はホームページにて。パソコン・スマートフォン検索！

JA筑紫

検索



「絆」 JA筑紫の自己改革

「やっばJA筑紫
があるけんよかったばい！」
を目指して

地域農業において、都市化、農畜産物価格の低迷・後継者不足・耕作放棄地の増加等による地域農業の衰退が危惧されています。また消費者からは安全・安心な農畜産物の提供を求められています。JA筑紫では担い手の経営支援・生産販売戦略の策定・新規就農者の確保等により地域農業の発展を目指し取り組んでいます。



担い手の育成支援

① 新規就農者の育成

ちくし農業塾の継続による新規就農者の育成を図りました。第7期までに71名が修了し、農産物直売所ゆめ畑への出荷や生産部会への加入など地域で活躍されています。



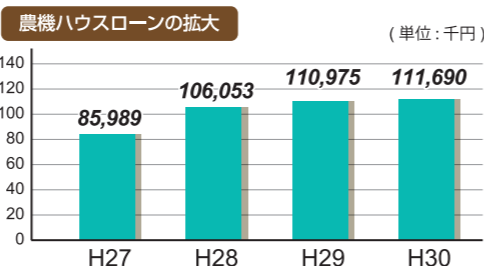
修了生へのフォローアップも行っています。



② 担い手支援

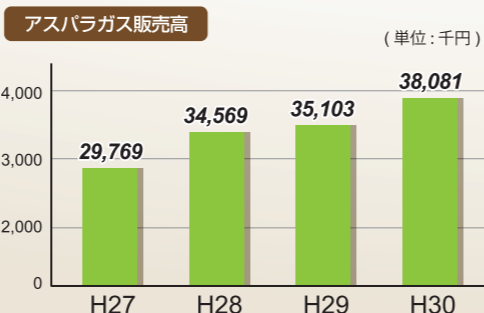
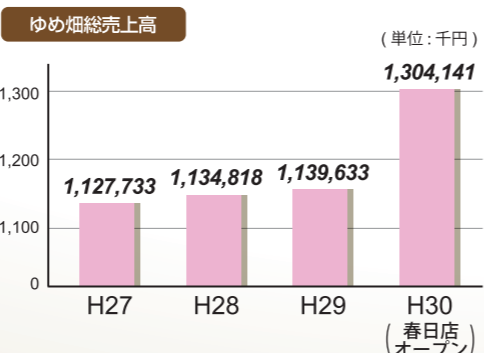
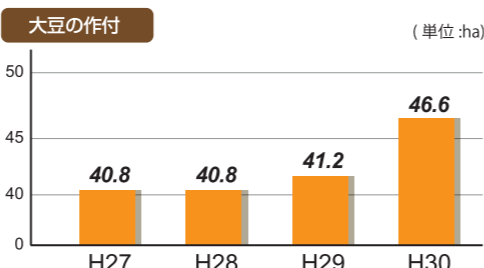
TAC活動による担い手経営体への訪問活動を行い、課題解決や経営改善に向けた取り組みを行いました。

適切な農業融資の資金対応を行うことで、担い手の資金計画、経営改善計画の策定を支援しました。



③ 大豆の作付け拡大

水稲から大豆への作付転換を行い農業所得の向上を目指すため、講習会や研修会を開催し作付面積拡大と良質な大豆の生産に取り組みました。



生産資材への支援・価格低減の取り組み

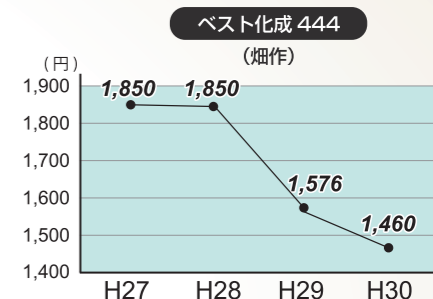
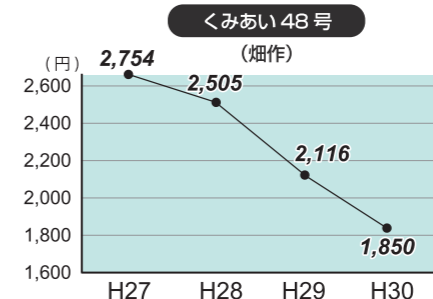
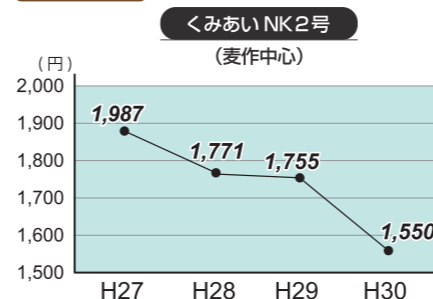
① コスト削減

肥料・農薬の予約購買、大口予約助成、総合ポイントの還元や、JA筑紫園芸関係助成事業によるパイプハウス・雨除けトンネルの助成等により生産コスト低減に取り組みました。

② 利便性向上、生産時間の効率化

- ① 「播種・育苗・定植」体制を確立し、生産者の作業負担を軽減しました。
- ② 生産者及び(株)JA アグリサポート筑紫等と連携し、不耕作地の解消に取り組みました。

肥料価格推移



農産物の販路拡大

① 積極的な販売

農業所得増大に向け、総合商業施設への出張販売や6次化商品の開発など新たな販売先の開拓を行なっています。

② 6次産業化商品*

さつまいもコロケの開発に続き、菊芋加工品、かつお菜漬けの開発に取り組んでいます。

*6次産業：生産、加工、販売まで一体に取り組むこと。

③ 学校給食

保育園・幼稚園・小中学校等学校給食への食材納入拡大に取り組みました。



農産物直売所ゆめ畑の販売強化

① 販売力の強化

農畜産物を最寄のゆめ畑店舗から他ゆめ畑店舗への配送を行い、生産者の出荷時間の短縮を図り、新鮮な地元野菜の出荷拡大に努めています。

② 園芸品目の出荷拡大

新たな園芸品目の作付けに取り組み、シロネギ、施設トマト、キクイモ等の作付け推進を行いました。

③ 食農教育

食の交流拠点として、ゆめ畑店舗による生産者、消費者の合同交流会を開催し、地域農業振興とJAの社会的役割に対する理解を深めました。

④ アスパラガスの作付拡大

県の補助事業の活用等を提案し、新たな生産者への作付け推進を行いました。

